

科目名	舞踊Ⅳ							年度	2026
英語科目名	Japanese Dance Ⅳ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	花ノ本寿、花ノ本寿美佳		教員の実務経験	有	実務経験の職種		舞踊家		
【科目の目的】 舞踊Ⅲの授業でインプットしてきたものを、アウトプットする行程に切り替えていく。具体的には、成果発表時のキャスティングやフォーメーションでの実習（入退場なども含む）、実寸（床にバミリなどで個人個人の立ち位置や入退場を示す）での稽古、実際の曲順での反復などを中心とする。別に、着付け・礼儀作法・扇子の扱い・舞踊も鑑賞に耐えうるレベルに到達するまで細かくセクションごとに稽古する。									
【科目の概要】 日本舞踊を通じて品や礼節を身につける。									
【到達目標】 芸能は全てそうであるが、日本の伝統芸能も一筋縄ではいかないものが多い。勉強して積み重ねてきたことだけが本番で表出する。短時間に習得したものは頭れない。成果発表の時期には、着付け・礼儀作法・扇子の扱い・舞踊すべてが鑑賞に耐えうるレベルに到達したい。また、この授業を通して技能・知識だけでなく、集団での協調性や助け合う気持ち、伝統を重んじる心や謙虚な姿勢なども習得する。									
【授業の注意点】 舞踊Ⅲ同様に、この授業独特の挨拶の仕方や設定されたルールは遂行し、さらに成果発表に向けて個人プレーではなく集団プレーであることを認識する。一人の行動で大勢に迷惑のかかることのないよう注意を配る。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業計画は成果発表の仕様・状況により、一部流動的となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる	挨拶することができる	挨拶することができない						
到達目標 B	課題内容を理解し表現できる	課題を表現できる	課題を表現できない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い						
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 浴衣一式、扇子、手ぬぐい。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		舞踊Ⅳ			年度	2026
英語表記		Japanese Dance Ⅳ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	歌舞伎のせりふ	歌舞伎劇の様式	1 新歌舞伎	文学性を追求する	2	
			2 スーパー歌舞伎	矛盾の発想を理解する		
			3 歌舞伎十八番	勸進帳を学ぶ		
2		立役	1 荒事	奔放でわがままな一面も見せる		
			2 和事	柔らかみを身上とする役どころを見せる		
			3 実事	思慮分別に富み肚のすわった立派な人物を見せる		
3		女方	1 若女方	女方の中でも若く美しい役を演じる		
			2 花車方	年増・老女といった役柄を演じる		
			3 三婆	老女役を演じる		
4	子役	1 子役	甲高い調子のせりふと、極めて典型的ないくつかの動作を演じる			
5	人間以外の役	1 獅子	獅子の毛を大きく勇壮に振る「狂い」を演じる			
		2 幽霊・亡霊	花道のセリを使い演じる			
		3 鬼・精	鬼は人間の暮らしをおびやかす存在を演じる			
6	歌舞伎囃子	1 長唄	鼓、笛などの鳴物と合体して長唄囃子連中として演奏されることを学ぶ			
		2 鳴物	狭義のお囃子を学ぶ			
7	浄瑠璃	1 金平浄瑠璃	江戸で大いに流行した江戸浄瑠璃を学ぶ			
		2 義太夫節	ドラマティックな表現力の豊かさを学ぶ			
		3 清元節	粋で艶っぽい語り口を			
8	義経伝説	1 弁慶との出会い	鬼一法眼三略巻を学ぶ			
		2 源平合戦	義経千本桜を学ぶ			
		3 義経都落ち	勸進帳を学ぶ			
9	今まで学習した作品の成果発表	雨の五郎・京の四季	1 復習	日本舞踊の神髄を演じる		
10	後期試験	まとめ	1 まとめ	踊り手の豊かな表現力と浴衣とのハーモニーを楽しむ		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等